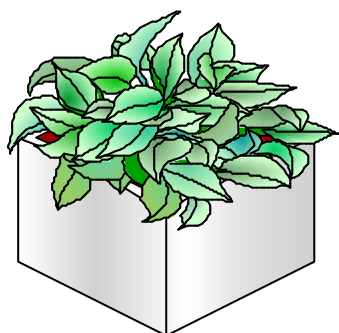


# 光合成

1年\_\_組\_\_番 氏名\_\_\_\_\_

葉に日光を当てた後、アルコールの中に入れて葉の緑を抜き、ヨウ素液に  
ひたしたら、青むらさき色に変わりました。このことから、葉には何ができ  
たといえるでしょうか。



葉にできたものは  
( )

# レディネステスト 光合成 (解答)

1年 \_\_\_ 組 \_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

葉に日光を当てた後、アルコールの中に入れて葉の緑を抜き、ヨウ素液にひたしたら、青むらさき色に変わりました。このことから、葉には何ができたといえるでしょうか。

知識・理解



葉にできたものは  
(            でんぷん            )

小学校からの系統...小学校 5年 A生物とその環境

「植物の発芽の条件」 「植物の成長の条件」

小学校 6年 A生物とその環境 「光合成」

授業の手引き

小学校では、5年で発芽に必要な養分は種子に蓄えられていること、成長には日光が必要であることを学習しています。6年で植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを学習しています。

中学校では、葉緑体の働きにふれながら光合成について学習します。

この問題では、**光合成によってデンプンがつくられること**についてのレディネスを確認することができます。

このレディネスは、中学校での植物のからだのつくりと光合成の関係を調べる学習に深くかかわってきます。そこで、光合成の学習において、植物がどのように養分を得ているかという視点と植物のからだのつくりとの関係という視点で授業を進めていくと、小学校の学習内容とのつながりがより明確になり、光合成についての深い理解につながると考えられます。

さらに、6年の「生物と周囲の環境とのかかわり」で、植物が二酸化炭素を吸収して酸素を放出していることを学習していますが、光合成とのかかわりには触れていません。

そこで、中学校の光合成の学習においては、気体の出入りに関するレディネスをきちんと把握して授業を進めることが必要であると考えます。